

## 令和5年度 事業計画

少子高齢化社会が進行する中、我が国の社会経済の活力を維持するためには、できるだけ多くの高齢者が元気で地域社会の中で活躍・貢献することが必要であり、それを担う仕組みの一つとしてシルバー人材センターの役割はますます重要になると考えられます。

令和4年度では、事務費率を7%から10%へ3%の引き上げを行い、経営状況の改善を図りました。しかし、終息の見えない新型コロナウイルス感染症やロシアによるウクライナ侵攻・円安などを要因のひとつとした、受注件数の減少や経費負担の増加は、今後も引き続き経営に大きな影響を及ぼすと予測されます。

このような社会情勢の中で、シルバーの基幹である会員拡大につきましては、企業の継続雇用の延長や定年年齢の引き上げの影響による入会者の減少や、高齢化が継続しており大変厳しい環境にあります。本年度は会員確保を視野に入れ民間企業や組織市町村担当部署への積極的な営業活動を行うことによりシルバー世代のニーズに合った仕事の開拓を図り、会員の年齢や体力面など、きめ細かい情報の把握を行い、より良いマッチングを進めてまいります。また、今後受注が見込める「空家管理事業」や「介護予防・日常生活支援総合事業」について受け入れ体制の構築を進めてまいります。

本年度は、第2期中期計画（令和3年度～7年度）の3年目に当たりますが、計画当初予定していなかった「インボイス制度」が10月より施行が決定しています。また、計画時の目標数値に差異が生じていますが、重点項目である「事務局体制の強化」・「会員資質の向上」と基本目標に掲げた6項目を強力で推進してまいります。

シルバー事業の遂行にとって安全で安心な就業を実施することは不可欠であり、基本であることから、本年度も「事故ゼロ」を目指して取組みを進めてまいります。

以下、各委員会の事業計画を<sup>きじゅつ</sup>記述いたしますが、理事会・専門委員会・会員・事務局、関係機関との連携を更に強化しながらシルバー人材センター事業に取り組んでまいります。

## 1. 総務委員会

会員の高齢化を考慮し「健康と安全」をキーワードに以下の事業を推進して参ります。

各事業の推進に当たっては、理事会、各委員会、地域班、職群班との連携を密にし、事業の実施の際は、「新型コロナウイルス感染症」の予防に留意して取組んで参ります。

- (1) 組織市町村長との懇談会を開催し、地域との連携、信頼関係の向上に努め、事業への理解と補助金の確保と共に就業拡大に取り組みます。
  - ① 組織市町村長との懇談会と担当窓口との情報交換
  - ② 就業拡大への取組み
- (2) 地域班長を中心とした地域に根差した会員活動の活性化を目指します。
  - ① 地域班長会を通じ、班長の役割を具現化して参ります。
  - ② 地域班毎の会員数を見直し、構成会員数の平準化に取り組みます。
  - ③ 合同地域班会議を通じセンターの運営状況の理解と課題の共有に努めます。
- (2) 会員資質向上に向け、基本理念「自主・自立、共働・共助」の理解を深めるため、各種研修会の開催や広報誌を通じた啓発活動に取り組みます。
- (4) 会員とのコミュニケーションを図り、就業先のCS(顧客満足)に努めます。
  - ① 役員(理事・監事)と事務局が連携し、就業先を計画的に訪問するなど就業状況の把握や会員との意見交換を通じ、顧客満足・会員の意識向上に努めます。
- (5) 生涯現役に向け「会員の健康づくりと安全」に係る講習会を開催します。
  - ① 「新型コロナウイルス感染症」の予防に留意した小規模講習会を、複数会場で複数回開催します。(＊手軽な体操 ＊認知症予防 ＊交通安全等)
- (6) 「インボイス制度」導入に対応して参ります。
  - ① 令和5年10月の制度の導入による影響に留意し、将来の安定的なセンター運営に向けた取組みを講じて参ります。
- (7) デジタル化の対応
  - ① IT機器の活用を推し進め、スピーディーな情報伝達・共有化に取り組みます。

## 2. 就業委員会

キーワード：明るく・楽しく・大らかに

会員の高齢化及び実働会員の減少に則した働き方の提案を行う中で、明るく・楽しく・大らかな就業環境や交流機会の創出を行って参ります。

- (1) 新規会員獲得への取組み

## 令和5年度 会員目標 630人

- ① 新規就業先開拓に向けた市場調査実施（商業会議所経由による調査依頼）
- ② 新規就業先の開拓（空家管理事業、介護予防・日常生活支援総合事業、等）
- ③ 環境変化や時代に即応した魅力ある入会説明会内容のブラッシュアップ
- ④ 新規会員獲得に向けた広報活動促進（広報、新聞広告、回覧板、チラシ配布）
- ⑤ 会員対象「入会者紹介キャンペーン」実施（年間2回 6～9月・1～3月）

### （2）会員資質向上への取組み

- ① 各委員会と連携し職群班技能講習会の開催（接遇マナー・安全含む）
  - ・「庭木剪定技能講習会」
  - ・「草刈り技能講習会」
  - ・「お掃除技能講習会」
  - ・「しめ縄飾り講習会」 12月 （2回 茅野地区、富士見地区）
- ② 職群班別の組織体制確立（班長制）及び就業先別意見交換による課題対応

### （3）適性就業への取組み

- ① 高齢者に適した働き方への規定・基準類見直し検討
- ② 就業時間の適正化に向けた就業形態の見直し
- ③ 作業標準の適正化及び作業標準類への落とし込み実施
- ④ 未就業会員に対する定期フォローアップと就業先紹介の継続推進

## 3. 安全委員会

令和5年度も『事故ゼロ』を目指します。

<b>当 面 目 標 : 事 故 5 件 以 下</b>
------------------------------

- ① 安全委員会を適時に開催し、会員の安全意識高揚と事故防止策等を検討し周知するとともに「安全確認シート」などを活用して事故削減につなげます。
- ② 7月から10月を「安全就業強化月間」と定め、就業現場のパトロールと会員から安全標語の募集を行い、安全対策等の周知徹底を図ります。
- ③ 事故が発生した場合、事故の検証と原因の究明を行い、更に事故防止策を検討し、会報等を通じて会員に知らせます。
- ④ 草刈り中の飛び石事故対策として、石飛軽減草刈り刃の販売・飛散防止ネット及び石が飛ばない安全回転バリカンの使用推進と、会員を対象とした草刈り講習会を開催します。

- ⑤ 運転業務会員で対象となる会員に、適性診断・福祉車両講習会を開催します。また、すべての会員を対象として「運転時認知障害早期発見チェックリスト30」を配布し、セルフチェックを実施します。
- ⑥ 他の専門委員会との共催により、「健康・安全・就業」に関する講演会や、就業別の研修会について検討し開催します。

#### 令和5年度「安全・適正就業対策推進の重点目標」

##### 目標 “危険ゼロ”

- 1. 安全ミーティングの完全実施
- 2. 安全装備使用の徹底
- 3. 健康診断受診及び健康体操の奨励
- 4. 交通事故防止
- 5. 安全・適正委員会、推進員による安全対策の点検と徹底による事故防止体制の確立

#### 4. 広報委員会

シルバーの事業内容や活動を会報により関係機関へ発信することや会員の皆さんへ適切な情報の発信や会員の活動を「かわら版」により紹介します。

- (1) 会報「八ヶ岳の風」 第73号の発行を行い、紙面作りとして以下のような記事を掲載いたします。
  - ① 理事長始め事務局からのお願いやお知らせ、各委員会と連携を図り、活動状況や就業上の注意事項などを掲載します。
  - ② 就業現場等での話題や独自事業班の活動を紹介します。
  - ③ 地域公共施設へ会報の配布を行い、施設利用者や来訪者へシルバーの活動を案内することにより就業拡大につながるよう努めます。
- (2) かわら版「八ヶ岳山麓だより」を適時に発行し、シルバー人材センターからのお知らせや講習会・研修会他会員互助会活動等を、会報発行の中間時期にお知らせ出来るよう努めます。
  - ① 紙面作りとして、会員の皆さんの話題や趣味、特技など身近な情報を幅広く提供していただき、会員同士の交流が出来るよう努めます。

- (3) 広報活動はもとより、広聴活動も重要なウエイトを占め、会員の就業活動内容の紹介や、就業発注先の声等をいただき、会員の皆さんへ発信します。
  
- (4) 新入会員獲得（女性会員拡大）と就業拡大に向け、他委員会と連携して、街頭啓発活動に努めます。